



# 海外旅行保険

クレカ補償  
充実プラン用

旅行

クレジットカードにセットされている海外旅行保険への「クレカ補償充実プラン」のご案内  
このチラシは、クレジットカードに付いている保険で足りない補償を充実させるためのプランをご紹介します  
したもので、保険期間が31日までの契約タイプが記載されています。

※クレジットカードをお持ちでない方もご契約いただけます。

※保険期間31日超の契約タイプについては、代理店または弊社までお問い合わせください。

## ご確認ください

クレジットカードにセットされている海外旅行保険の補償内容をご存知ですか？



- 海外での治療費等は高額となる場合がありますが、クレジットカードによっては、補償額が不足している場合があります。
- 病気による死亡は補償されないことが一般的です。

クレジットカードにセットされている海外旅行保険だけでは、いざという時に困ってしまうかもしれません。

➔ こうした不安を解消できる「クレカ補償充実プラン」をおすすめします。

### ご契約金額と保険料

契約タイプ	69歳以下			70歳以上			
	D4	D3	D2	H4	H3	H2	
傷害死亡	—	500万円	—	—	500万円	—	
傷害後遺障害*1	—	500万円	500万円	—	500万円	—	
治療・救済費用	2,000万円	1,000万円	1,000万円	2,000万円	1,000万円	1,000万円	
応急治療・救済費用*2	300万円	300万円	300万円	300万円	300万円	300万円	
疾病死亡	—	500万円	500万円	—	—	—	
賠償責任	8,000万円	5,000万円	5,000万円	8,000万円	5,000万円	5,000万円	
携行品損害	—	10万円	—	—	10万円	—	
航空機寄託手荷物	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	3万円	
航空機遅延*3	セットあり			セットあり			
払い込みいただく保険料	保険期間1日まで	1,320円	1,870円	1,540円	2,090円	2,420円	2,040円
	2日まで	2,100円	2,720円	2,280円	3,020円	3,430円	2,930円
	3日まで	2,760円	3,480円	2,930円	3,830円	4,330円	3,720円
	4日まで	3,250円	4,080円	3,430円	4,900円	5,470円	4,760円
	5日まで	3,730円	4,740円	3,920円	5,970円	6,690円	5,800円
	6日まで	4,300円	5,450円	4,490円	7,030円	7,870円	6,840円
	7日まで	4,780円	6,010円	4,940円	8,110円	9,020円	7,880円
	8日まで	5,540円	6,840円	5,670円	9,180円	10,160円	8,920円
	9日まで	5,990円	7,390円	6,130円	10,270円	11,310円	9,980円
	10日まで	6,380円	7,870円	6,510円	11,340円	12,460円	11,020円
	11日まで	6,790円	8,360円	6,910円	12,400円	13,590円	12,060円
	12日まで	7,170円	8,840円	7,290円	13,480円	14,740円	13,110円
	13日まで	7,610円	9,350円	7,710円	14,560円	15,870円	14,140円
	14日まで	7,940円	9,750円	8,020円	15,630円	17,000円	15,180円
	15日まで	10,580円	12,360円	10,590円	19,620円	20,910円	19,050円
	17日まで	11,520円	13,370円	11,530円	20,930円	22,260円	20,320円
	19日まで	12,820円	14,740円	12,780円	23,380円	24,750円	22,690円
21日まで	14,030円	16,020円	13,960円	25,470円	26,890円	24,720円	
23日まで	15,240円	17,420円	15,170円	27,190円	28,790円	26,420円	
25日まで	16,510円	18,730円	16,400円	29,300円	30,900円	28,450円	
27日まで	18,000円	20,260円	17,860円	31,270円	32,910円	30,380円	
29日まで	19,230円	21,510円	19,070円	33,620円	35,240円	32,660円	
31日まで	20,580円	22,860円	20,380円	35,900円	37,490円	34,870円	

### ご契約の際のご注意

- 保険期間(保険のご契約期間)は、海外旅行の目的をもって住居を出発してから住居に帰着するまでの「旅行期間」に合わせて設定してください。なお、住居とは一戸建住宅の場合はその敷地内、集合住宅の場合は保険の対象となる方が居住している戸室内をいいます。また、保険期間中であっても住居に帰着した時点で保険は終了します。
  - 保険期間はお出発の日を含めて数えます。たとえば「6月1日より6月8日までの旅行」の保険期間は「8日まで」となります。
  - 各保険金額とも引受けの限度額がございます。傷害死亡保険金額、傷害後遺障害保険金額、疾病死亡保険金額については、保険の対象となる方の年齢・年収等に応じた引受けの限度額があります。
  - 次のいずれかに該当する場合、ご契約できる傷害死亡保険金額、疾病死亡保険金額は、それぞれ「他の保険契約等\*6」と合算して、1,000万円が上限となりますので、ご注意ください。  
① 始期日における保険の対象となる方の年齢が満15歳未満の場合  
② ご契約者と保険の対象となる方が異なるご契約で保険の対象となる方の同意がない場合
  - 海外旅行保険付きクレジットカードをお持ちの方が本プランにご契約される場合、傷害死亡保険金、傷害後遺障害保険金および疾病死亡保険金等については双方の保険金の合計額が支払われます。一方、その他の保険金(治療・救済費用、携行品損害、賠償責任等)については実際にかかった費用や損害額がお支払いの限度となりますので、双方の保険から二重に支払われるものではありません(補償限度額が増えるのみ)。
  - \*1 始期日における保険の対象となる方の年齢が70歳以上のご契約は、お支払いの対象が「後遺障害等級表」の第3級以上の支払割合となる後遺障害に限定されます(「後遺障害等級限定補償特約」が自動セットされます)。
  - \*2 「疾病に関する応急治療・救済費用担保特約に係る治療・救済費用保険金」を指します。
  - \*3 1回の事故について、保険の対象となる方が下表の①から③に該当する費用を負担した場合、該当した費用に応じたお支払い額のうち、いずれか高い金額をお支払いします。
- | 保険の対象となる方が負担した費用          | お支払い額  |
|---------------------------|--------|
| ① 宿泊施設の客室料                | 3万円    |
| ② 交通費*4もしくは渡航先での各種サービス取消料 | 1万円    |
| ③ 食事代                     | 5,000円 |
- \*4 その航空機の代替となる他の交通手段を利用した場合の費用をいいます。
  - \*5 契約タイプでご契約され、保険証券、保険契約証または被保険者証のいずれかをお持ちいただいているお客様が対象になります。詳細内容については「海外旅行保険あんしんガイドブック」をご確認ください。
  - \*6 この保険契約以外にご契約されている、この保険契約と全部または一部について支払責任が同一である保険契約や共済契約のことをいいます。他の保険契約等がある場合、そのご契約の内容によっては、弊社にて保険のお引受けができない場合があります。

# 補償内容のご説明(お支払いする保険金の内容) 補償充実プラン

「海外旅行中」とは 保険期間中(保険のご契約期間中)で、かつ保険の対象となる方が海外旅行の目的をもって住居を出発してから、住居に帰着するまでの旅行行程をいいます。なお、住居とは一戸建住宅の場合はその敷地内、集合住宅の場合は保険の対象となる方が居住している戸室内をいいます。

ケガや病気を被ったとき既に存在していた身体の障害または病気の影響によって、ケガや病気の程度が重大となった場合、弊社は、その影響がなかったときに相当する金額を支払います。

保険金の種類	保険金をお支払いする主な場合	保険金のお支払い額	保険金をお支払いしない主な場合												
傷害死亡保険金	海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の発生の日からその日を含めて <b>180日以内</b> に死亡された場合(事故によりただちに死亡された場合を含みます。)	傷害死亡保険金額の全額を保険の対象となる方の法定相続人に支払います。死亡保険金受取人を指定された場合には指定された方に支払います。 ※ 同一のケガにより、既に支払った傷害後遺障害保険金がある場合は、傷害死亡保険金額から既に支払った傷害後遺障害保険金の額を控除した残額をお支払いします。	たとえば、 ①ご契約者、保険の対象となる方の故意または重大な過失 ②保険金受取人の故意または重大な過失 ③戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事象*1 ④放射線照射、放射能汚染 ⑤無免許・酒気帯び・麻薬等を使用しての運転中に生じた事故によるケガ ⑥げんかや自殺行為、犯罪行為 ⑦脳疾患、心神喪失、妊娠、出産、流産によるケガ ⑧海外旅行開始前または終了後に発生したケガ ⑨ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、職務以外での航空機操縦、ボブスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、自動車等の乗用具を用いて競技・試運転等の危険な運動を行っている間のケガ(特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払い込みいただいた場合は、お支払いの対象となります。)												
傷害後遺障害保険金	海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の発生の日からその日を含めて <b>180日以内</b> に身体に後遺障害が生じた場合	(後遺障害の程度に応じて) 傷害後遺障害保険金額の4%~100%*2 ※ 保険期間(保険のご契約期間)を通じて傷害後遺障害保険金額が限度となります。 <b>*2 始期日における保険の対象となる方の年齢が70歳以上のご契約は、お支払いの対象が「後遺障害等級表」の第3級以上の支払割合となる後遺障害に限定されます。</b> (「後遺障害等級限定補償特約」が自動セットされます。)。ただし、包括契約に関する特約、企業等に関する特約をセットしたご契約については、保険証券、保険契約証または被保険者証に表示がある場合に、この特約がセットされます。	*1 戦争危険等免責に関する一部修正特約がセットされているため、テロ行為はお支払いの対象となります。												
治療・救済費用保険金	<b>■治療費用部分</b> ①海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、医師の治療を受けられた場合 ②海外旅行開始後に発病した病気*3により、旅行終了後 <b>72時間を経過するまでに</b> 医師の治療を受けられた場合 ③海外旅行中に感染した特定の感染症*4*6により、旅行終了日からその日を含めて <b>30日を経過するまでに</b> 医師の治療を受けられた場合 <b>■救済費用部分</b> ①海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガにより、事故の日からその日を含めて <b>180日以内</b> に死亡された場合(事故によりただちに死亡された場合を含みます。) ②海外旅行中の急激かつ偶然な外来の事故によるケガや海外旅行中に発病した病気により、 <b>3日以上*7</b> 続けて入院された場合(病気の場合は、旅行中に医師の治療を開始したときに限ります。) ③病気、妊娠、出産、早産、流産が原因で海外旅行中に死亡された場合 ④海外旅行中に発病した病気により、旅行中に医師の治療を開始し、旅行終了日からその日を含めて <b>30日以内</b> に死亡された場合 ⑤海外旅行中に乗っている航空機・船舶が遭難した場合、急激かつ偶然な外来の事故により生死が確認できない場合、警察等の公的機関によって緊急捜索・救助活動が必要な状態と確認された場合 等 ※ 治療費用部分・救済費用部分共通のご注意 お支払いする保険金は、1回のケガ、病気、事故等について、治療・救済費用保険金額が限度となります。また、次のa. b. の費用がお支払いの対象となり、c. はお支払いの対象となりません。 a. 日本国内において治療を受けた場合に、自己負担額として保険の対象となる方が診療機関に直接支払った費用 b. 海外において治療を受けた場合に、保険の対象となる方が診療機関に直接支払った費用 c. 日本国内において治療を受けた場合、健康保険、労災保険等から支払いがなされ、保険の対象となる方が直接支払うことが必要とされない部分	下記の費用で実際に支出した治療費等のうち社会通念上妥当と認められる金額(下記の費用については、ケガの場合は事故の日から、病気の場合は初診の日から、その日を含めて <b>180日以内</b> に必要となった費用に限り、ケガの場合は、 ※ 日本国外においてカイロプラクティック、鍼(はり)または灸(きゅう)の施術者による治療で支出した費用は保険金をお支払いできません。 ①医師・病院に支払った診察・入院関係費用(医師の処方による薬剤費、病院が利用できない場合や医師の指示による宿泊施設の客室料等を含みます。) ②治療に伴い必要になった通訳雇入費用、交通費 ③義手、義足の修理費(ケガの場合のみ) ④入院のため必要になった a. 国際電話料等通信費、b. 身の回り品購入費(1回のケガ、病気について、b については5万円、a と b 合計で20万円を限度とします。) ⑤旅行行程離脱後、当初の旅行行程に復帰または直接帰国するために必要な交通費、宿泊費(払戻しを受けた金額や負担することを予定していた金額は差し引きます。) ⑥保険金請求のために必要な医師の診断書費用 ⑦法令に基づき、公的機関より消毒を命じられた場合の消毒費用 ご契約者、保険の対象となる方、または保険の対象となる方の親族*8の方が実際に支出した下記の費用で社会通念上妥当と認められる金額 ①捜索救助費用 ②救済者の現地までの往復航空運賃等の交通費(救済者 <b>3名分まで</b> ) ③救済者の宿泊施設の客室料(救済者3名分かつ救済者1名につき <b>14日分まで</b> ) ④救済者の渡航手続費、現地での諸雑費(合計で20万円まで) ⑤現地からの移送費用(払戻しを受けた金額、負担することを予定していた金額、治療費用部分で支払われるべき金額は差し引きます。) ⑥遺体処理費用(10万円まで)	上記①~④、⑥に加え、たとえば、 ・無免許・酒気帯び・麻薬等を使用しての運転中に生じた事故 ・妊娠、出産、早産、流産またはこれらが原因の病気および不妊症の治療費用 ・歯科疾病 ・海外旅行開始前または終了後に発生したケガ ・海外旅行開始前に発病した病気(疾病に関する応急治療・救済費用担保特約がセットされているご契約では同特約でお支払いの対象となる場合があります。) ・むちうち症・腰痛その他の症状で医学的に見所のないもの ・ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、職務以外での航空機操縦、ボブスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、自動車等の乗用具を用いて競技・試運転等の危険な運動を行っている間のケガ等(特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払い込みいただいた場合は、お支払いの対象となります。) ・ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山を行っている間に発病した高山病(特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払い込みいただいた場合は、お支払いの対象となります。)												
疾病に関する応急治療・救済費用担保特約に係る治療・救済費用保険金	<b>■治療費用部分</b> 海外旅行開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気(妊娠、出産、早産、流産またはこれらが原因の病気、不妊症および歯科疾病は含みません。) が原因で、 <b>海外旅行中にその症状の急激な悪化*11</b> により医師の治療を受けられた場合 <b>■救済費用部分</b> 海外旅行開始前に発病し医師の治療を受けたことがある病気(妊娠、出産、早産、流産またはこれらが原因の病気、不妊症および歯科疾病は含みません。) が原因で、 <b>海外旅行中にその症状の急激な悪化*11</b> により <b>3日以上*7</b> 続けて入院された場合 ※ 治療費用部分・救済費用部分共通のご注意 <b>*11 症状の急激な悪化とは?</b> 海外旅行中に生じていることについて保険の対象となる方が予め予測できず、かつ、社会通念上扱うべき注意をもってしても避けられない症状の変化をいいます。 ※ 対象となる費用・損害額の詳細については「海外旅行保険普通保険約款および特約」をご確認ください。	実際に支出した治療費等のうち社会通念上妥当と認められ、かつ、同等の病気の発病に対して通常負担する費用に相当する金額 ご契約者、保険の対象となる方、または保険の対象となる方の親族*8の方が実際に支出した下記の費用で社会通念上妥当と認められ、かつ、同等の病気の発病に伴い通常負担する費用に相当する金額 たとえば 救済者の現地までの往復航空運賃等の交通費(救済者 <b>3名分まで</b> ) 救済者の宿泊施設の客室料(救済者3名分かつ救済者1名につき <b>14日分まで</b> ) ※ 保険金のお支払い額は、1回の病気につき治療費用部分・救済費用部分合計で <b>300万円限度</b> となります。ただし、治療・救済費用保険金額が300万円を下回る場合は、治療・救済費用保険金額を限度とします。 ※ 海外旅行中に医師の治療を開始した日からその日を含めて <b>30日以内</b> に必要となった費用に限り、また、住居(保険の対象となる方が入院した最終日の国の病院または診療所を含みます。) 等に帰着後にかかった費用はお支払いの対象となりません。	たとえば、 ・海外旅行終了後に治療を開始した場合 ・治療または症状の緩和を目的とする旅行中の場合 ・海外旅行開始前において、渡航先の病院または診療所で医師の治療を受けることが決定していた場合(診察の予約または入院の手配等が行われていた場合を含みます。) ・海外旅行中も支出することが予定されていた次の費用 たとえば、 ・透視、義手義足、人工心臓弁、ペースメーカー、人工肛門、車椅子その他器具等の継続的な使用に関わる費用 ・インスリン注射その他薬剤の継続的な使用に関わる費用 ・温泉療法・熱気浴等の理学的療法の費用 ・あん摩・マッサージ指圧、鍼(はり)、灸(きゅう)などこれらに類する理学的療法の費用 ・運動療法/リハビリテーションその他これらに類する理学的療法の費用 ・臓器移植等およびそれと同様の手術等に関わる費用 ・眼鏡、コンタクトレンズもしくは補聴器の装着および調整に関わる費用または近視矯正手術その他の視力回復を目的とする処置に関わる費用 ・毛髪移植、美容上の形成手術等に関わる費用 ・不妊治療その他妊娠促進管理に関わる費用												
疾病死亡保険金	①海外旅行中に病気で死亡された場合 ②海外旅行開始後に発病した病気*3により、旅行終了後 <b>72時間を経過するまでに</b> 医師の治療を受け、旅行終了日からその日を含めて <b>30日以内</b> に死亡された場合 ③海外旅行中に感染した特定の感染症*4*12により、旅行終了日からその日を含めて <b>30日以内</b> に死亡された場合	疾病死亡保険金額の全額を保険の対象となる方の法定相続人に支払います。死亡保険金受取人を指定された場合には指定された方に支払います。	上記①~④、⑥に加え、たとえば、 ・妊娠、出産、早産、流産またはこれらが原因の病気および不妊症 ・歯科疾病 ・ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山を行っている間に発病した高山病による死亡(特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払い込みいただいた場合は、お支払いの対象となります。)												
賠償責任保険金	海外旅行中の偶然な事故により、他人にケガをさせたり、他人の財物に損害*13を与えて、法律上の損害賠償責任を負った場合 <b>*13</b> 次に掲げる損害を含みます。 ・宿泊施設の客室、宿泊施設の客室内の動産(客室外におけるセイフティボックスおよび客室のキーを含みます。)に与えた損害 ・居住施設内の部屋、部屋内の動産に与えた損害。ただし、建物またはマンションの戸室全体を賃借している場合を除きます。 ・レンタル会社よりご契約者または保険の対象となる方が直接借用した旅行用品、生活用品に与えた損害	損害賠償金の額 ※ 1回の事故について、賠償責任保険金額が限度となります。 ※ 損害賠償責任の全部または一部を承認する場合は、予め弊社にご相談ください。 ※ 損害の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用、弊社の同意を得て支出した訴訟費用・弁護士報酬等に対しても保険金をお支払いできる場合があります。 ※ 損害の対象となる方が責任無能力者の場合で、その責任無能力者の行為により親権者等が法律上の損害賠償責任を負った場合もお支払いの対象となります。	上記③④に加え、たとえば、 ・ご契約者または保険の対象となる方の故意 ・職務遂行に関する(仕事上の)賠償責任 ・所有・管理する財物の損壊または紛失について正当な権利者に対して負担する損害賠償責任 ・航空機、船舶*14、車両*15、銃器(空気銃を除きます。)の所有・使用・管理に起因する賠償責任 ・親族*8に対する賠償責任 <b>*14</b> ヨット、水上オートバイはお支払いの対象となります。 <b>*15</b> レンタカーを含みます。なお、自転車、ゴルフ場の乗用カート、レジャー目的で使用中的のスクーター等はお支払いの対象となります。												
携行品損害保険金	海外旅行中に携行品*16が盗難・破損・火災等の偶然な事故にあつて損害を受けた場合 <b>*16</b> 携行品とは? 保険の対象となる方が所有または海外旅行開始前にその旅行のために他人から無償で借り、かつ携行するカメラ、カバン、衣類等の身の回り品*17をいいます。現金・小切手・クレジットカード・プリペイドカード・電子マネー・商品券・定期券・義歯・コンタクトレンズ・稿本・設計書・図案・証書・帳簿等の書類・データ・ソフトウェア等の無体物・生・生鮮品等の運動を行うための用具またはこれらの付属品等は含みません。また、仕事のためだけに使用するもの・居住施設内(一戸建住宅の場合はその敷地内・集合住宅の場合は保険の対象となる方が居住している戸室内)にある間および別送品は <b>含まれません</b> 。 <b>*17</b> この旅行の有無にかかわらず業務の目的で借りているものを除きます。 <b>ご注意</b> 保険金の請求は原則日本のみで受け付け、日本にて円貨でお支払いします。事故および損害額の証明書類を必ずお持ち帰りください。	(携行品1個、1組または1対あたり10万円を限度とした) 損害額*18 ※ 乗車券等は合計で5万円を限度とします。 ※ 旅券については1回の保険事故を通じて5万円を限度とします。 ※ お支払いする保険金は、保険期間を通じて携行品損害保険金額が限度となります。 ※ ただし、携行品損害保険金額が30万円超の場合は、盗難・強盗および航空会社等に預けた手荷物の不着による損害に対する限度額は保険期間を通じて30万円となる場合があります。 ※ 損害の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用等に対しても保険金をお支払いできる場合があります。 <b>*18</b> 損害額とは? 損害が生じた携行品の時価額*19とします。修繕可能な場合は修繕費と時価額*19のいずれか低い方とします。自動車等の運転免許証については再発給手数料、旅券については再取得費用(現地に限り、交通費、宿泊施設の客室料も含みます。)、乗車券等についてはその乗車券等の経路および等級の範囲内で保険事故の後に保険の対象となる方が支出した費用等をいいます。 <b>*19</b> 時価額とは? 再取得価額*20から使用による消耗、経過年数等に応じた減価分を控除して算出した額をいいます。 <b>*20</b> 再取得価額とは? 保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要とする額をいいます。	上記①~④に加え、たとえば、 ・無免許・酒気帯び・麻薬等を使用しての運転中に生じた事故による損害 ・保険の対象となる物が通常有する性質や性能の欠如または自然の消耗、さび、変色、虫食い ・携行品の置き忘れまたは紛失*21 ・ビッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、職務以外での航空機操縦、ボブスレー、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗等の危険な運動を行っている間に生じたその運動用具の損害 ・単なる外観の損傷で機能に支障をきたさない損害 ・差し押え、破壊等の公権力の行使(火災消防・避難処置、空港等の安全確認検査等での錠の破壊はお支払いの対象となります。)												
航空機寄託手荷物保険金	①出発地または乗継地において、保険の対象となる方が乗客として搭乗する予定の航空機が、出発予定時刻から <b>6時間以内</b> に出発せず、その航空機の搭乗時に航空会社に運搬を委託した手荷物を受け取れなかったために、出発予定時刻から <b>96時間以内</b> に衣類、生活必需品、その他やむを得ず必要となった身の回り品購入費の負担を余儀なくされた場合 ②乗継地または目的地において、保険の対象となる方が乗客として搭乗した航空機が、乗継地または目的地に到着後 <b>6時間以内</b> にその航空機の搭乗時に航空会社に運搬を委託した手荷物が受け取れなかったために、乗継地もしくは目的地に到着してから <b>96時間以内</b> に衣類、生活必需品、その他やむを得ず必要となった身の回り品購入費の負担を余儀なくされた場合	1回の事故につき3万円(定額)をお支払いします。 <b>ご注意</b> 保険金の請求は原則日本のみで受け付け、日本にて円貨でお支払いします。事故および損害額の証明書類を必ずお持ち帰りください。	上記①~④に加え、たとえば、 ・ご契約者、保険の対象となる方の法令違反 ・保険金受取人の法令違反 ・地震、噴火またはこれらによる津波												
航空機遅延保険金	①出発地から搭乗する予定であった航空機の <b>6時間以上</b> の出発遅延、欠航、運休もしくは搭乗予約受付業務の不備による搭乗不能、または、搭乗した航空機の着陸地変更により、出発予定時刻から <b>6時間以内</b> に代替機を利用できず、下記の費用を負担した場合 ②搭乗した航空機の遅延等により、乗継地から搭乗する予定であった航空機に搭乗できず、乗継地への到着時刻から <b>6時間以内</b> に代替機を利用できず、下記の費用を負担した場合 ・宿泊施設の客室料 ・交通費*22 ・渡航先での各種サービス取消料 ・食事代 <b>*22</b> その航空機の代替となる他の交通手段を利用した場合の費用をいいます。	1回の事故について、保険の対象となる方が下表のaからcに該当する費用を負担した場合、該当した費用に応じたお支払い額のうち、いずれか高い金額をお支払いします。 <table border="1"><thead><tr><th></th><th>保険の対象となる方が負担した費用</th><th>お支払い額</th></tr></thead><tbody><tr><td>a</td><td>宿泊施設の客室料</td><td>3万円</td></tr><tr><td>b</td><td>交通費*22もしくは渡航先での各種サービス取消料</td><td>1万円</td></tr><tr><td>c</td><td>食事代</td><td>5,000円</td></tr></tbody></table> ※渡航先での各種サービス取消料等を除き、左記①の場合は <b>出発地(着陸地変更の場合はその着陸地)</b> 、左記②の場合は <b>乗継地において負担した日本</b> に限り、 <b>ご注意</b> 保険金の請求は原則日本のみで受け付け、日本にて円貨でお支払いします。事故および損害額の証明書類を必ずお持ち帰りください。		保険の対象となる方が負担した費用	お支払い額	a	宿泊施設の客室料	3万円	b	交通費*22もしくは渡航先での各種サービス取消料	1万円	c	食事代	5,000円	上記①~④に加え、たとえば、 ・ご契約者、保険の対象となる方の故意 ・職務遂行に関する(仕事上の)賠償責任 ・所有・管理する財物の損壊または紛失について正当な権利者に対して負担する損害賠償責任 ・航空機、船舶*14、車両*15、銃器(空気銃を除きます。)の所有・使用・管理に起因する賠償責任 ・親族*8に対する賠償責任 <b>*14</b> ヨット、水上オートバイはお支払いの対象となります。 <b>*15</b> レンタカーを含みます。なお、自転車、ゴルフ場の乗用カート、レジャー目的で使用中的のスクーター等はお支払いの対象となります。
	保険の対象となる方が負担した費用	お支払い額													
a	宿泊施設の客室料	3万円													
b	交通費*22もしくは渡航先での各種サービス取消料	1万円													
c	食事代	5,000円													
	<b>*3</b> 旅行終了後に発病した病気については、原因が旅行中に発生したものに限り、 <b>*4</b> 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第6条に規定する一類感染症・二類感染症・三類感染症・四類感染症、政令により一類感染症・二類感染症・三類感染症と同程度の措置が講じられている指定感染症または同条第7項第3号に規定する新型コロナウイルス感染症*5をいいます。 <b>*5</b> 病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有するものが新たに報告されたものに限り、)であるものに限り、 <b>*6</b> 保険の対象となる方が治療を開始された時点において規定する感染症をいいます。 <b>*7</b> 午前0時をまたぐ場合は、2日と数えます。	<b>*8</b> 6親等内の血族、配偶者*9または3親等内の姻族をいいます。 <b>*9</b> 婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある方および戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異なる程度の実質を備える状態にある方を含みます。(以下の要件をすべて満たすことが書面等により確認できる場合に限り、婚姻とは異なります。) ①婚姻意思*10を有すること ②同居により夫婦同様の共同生活を送っていること <b>*10</b> 戸籍上の性別が同一の場合は夫婦同様の関係を将来にわたって継続する意思をいいます。 <b>*12</b> 保険の対象となる方が死亡された時点において規定する感染症をいいます。													



ご契約に関するご注意を記載しております。  
ご契約の前に必ずご確認ください。

## ご契約に関するご注意

- ① **帰国予定**：帰国予定のない方や海外に永住される方を保険の対象となる方とする保険契約はお申込みいただけません。そのため、保険契約締結ならびに保険金請求の際に、在住状況等をご申告いただく場合がありますので、予めご了承ください。
- ② **旅行先での運動**：次のような場合には、特別危険担保特約をセットし、これらの運動等に対応する割増保険料を払い込みいただかないと、保険金が支払われませんので、その旨お申し出ください。
  - ・旅行先でピッケル・アイゼン等の登山用具を使用する山岳登山、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機（モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機を除きます。）搭乗、ジャイロプレーン搭乗その他これらに類する危険な運動をされる場合
  - ・旅行先で航空機（グライダーおよび飛行船を除きます。）を操縦される場合（ただし、お仕事での航空機操縦については割増保険料は不要です。）
  - ・旅行先で自動車等の乗用具による競技、試運転、競技場でのフリー走行等をされる場合
- ③ **旅行先でのお仕事**：次のような場合には、割増保険料を払い込みいただかないと、お受け取りになる保険金が削減される場合または支払われない場合がございますので、その旨お申し出ください。
  - ・旅行先で危険なお仕事（たとえば、プロボクシング・プロレスリング等）に従事される場合
- ④ **保険期間の延長手続き**：旅行日程の変更等による保険期間の延長手続きは、ご契約を申し込まれた代理店または弊社営業店の営業時間内に対応させていただきます。  
お手続きは、保険期間終了以前に完了していただく必要があります。  
また、実際のお手続きは、海外では行えませんのでお客様の日本にいるご家族・知人の方に、お客様の代理となって、お客様がご契約を申し込まれた代理店または弊社営業店で延長手続きを行っていただくよう依頼してください。  
ただし、交通機関の遅延、欠航・運休または到着地変更や、お客様が医師の治療を受けられたこと等により、ご旅行の最終目的地（お客様の住居を含みます。）への到着が遅延した場合には、保険責任の終期はその事由により到着が通常遅延すると認められる時間で、かつ72時間を限度として自動的に延長されるため、保険期間延長の手続きや追加保険料の払込みは不要です。
- ⑤ **補償の重複について**：
  - ・賠償責任危険担保特約、治療・救済費用担保特約等をご契約される場合で、保険の対象となる方またはそのご家族が、補償内容が同様の保険契約\*1を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。
  - ・補償が重複すると、対象となる事故について、どちらのご契約からでも補償されますが、いずれか一方のご契約からは保険金が支払われない場合があります。補償内容の差異や保険金額をご確認のうえで、特約等の要否をご確認ください。\*2
  - \*1 海外旅行保険以外の保険契約にセットされる特約や弊社以外の保険契約を含みます。
  - \*2 1契約のみにセットする場合、将来、そのご契約を解約したとき等は、補償がなくなることがありますので、ご注意ください。
- ⑥ **保険料領収証**：保険料払込みの際は、弊社所定の保険料領収証を発行いたしますので、お確かめください。
- ⑦ **保険証券、保険契約証または被保険者証について**：代理店または弊社にてご契約のお手続きをされたにもかかわらず、保険証券、保険契約証または被保険者証が旅行出発前に届かないときは、お手数ながらご契約の代理店または弊社へお問い合わせください。お問い合わせに際しましては、領収証番号・保険の種類・保険期間およびご契約の代理店名をご連絡願います。なお、保険証券、保険契約証または被保険者証をお渡すまでにはお時間がかかる場合がありますので、お早めにお申込みいただきますようお願いいたします。

素敵な海外旅行になりますように、  
お気をつけてお出かけください。




このチラシは海外旅行保険の概要をご紹介します。ご契約にあたっては、必ず『重要事項説明書』をよくお読みください。また、詳細は『海外旅行保険あんしんガイドブック』および『海外旅行保険普通保険約款および特約』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店または弊社にご請求ください。ご不明な点等がある場合には、代理店または弊社までお問い合わせください。ご契約者と保険の対象となる方が異なる場合は、このチラシの内容を保険の対象となる方全員にご説明いただきますようお願い申し上げます。なお、弊社代理店は弊社との委託契約に基づき、保険契約の締結・契約の管理業務等の代理業務を行っております。したがって、弊社代理店との間で有効に成立したご契約につきましては弊社と直接契約されたものとなります。

お問い合わせ先

保険に関するお問い合わせは

東京海上日動カスタマーセンター

 **0120-868-100**

受付時間：平日・土日祝 午前9時～午後6時

（年末・年始を除く）

東京海上日動火災保険株式会社

www.tokiomarine-nichido.co.jp